

第2調節池における地下水の状況について

- 地下水位は、全体として北側で浅く、南側で深い傾向が見られた。
- ゾーン区分別に見ると「湿地の再生を進める地区」では地下水位が深く（地盤高から深い）、「緩衝帯地区」では浅い（地盤高に近い）傾向が見られた。
- 地形別に見ると水路周辺で地下水位が深くなる傾向が見られ、地下水が陸側から水路側に向かって勾配を持っていることが分かる。

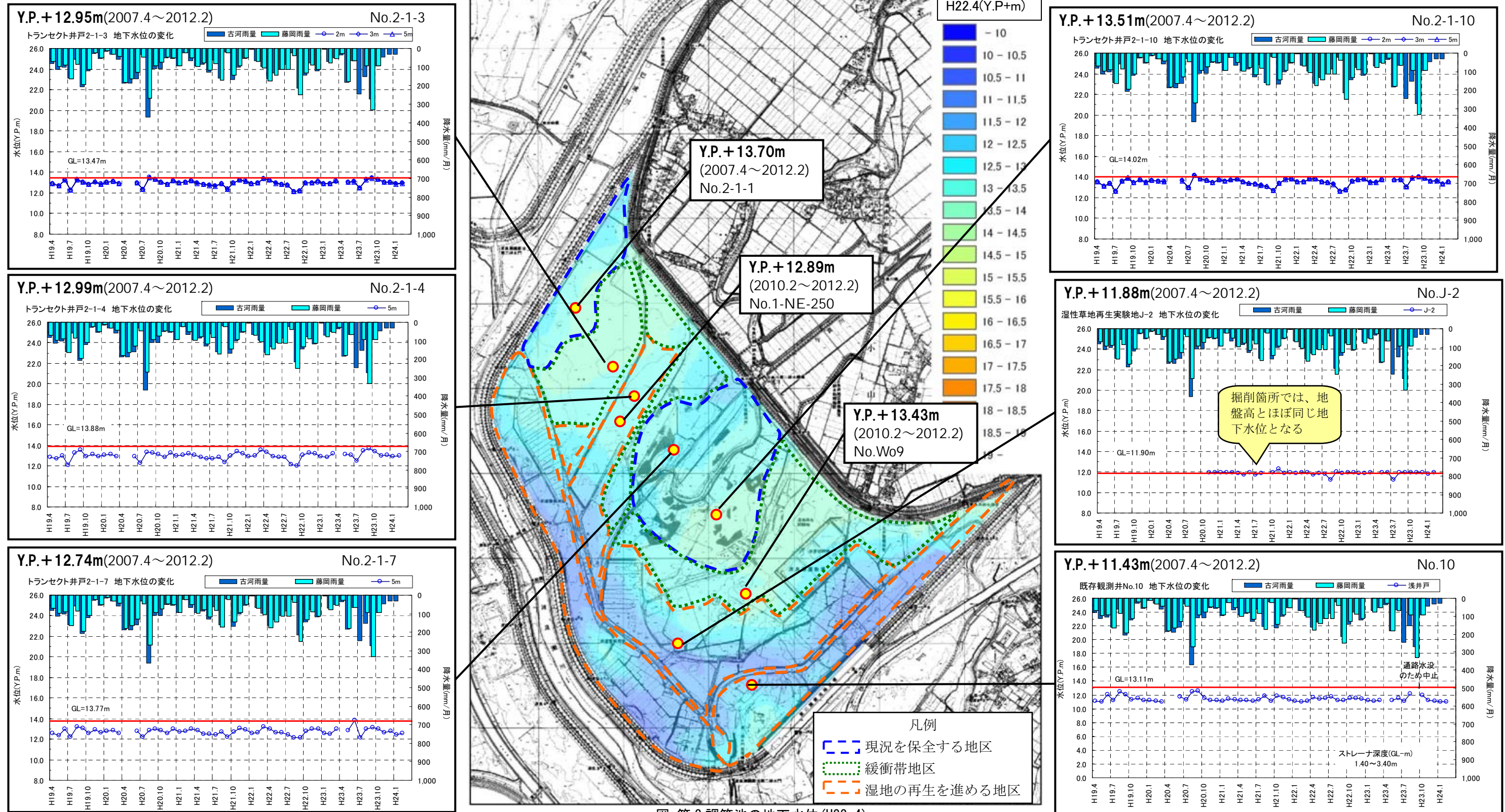


図. 第2調節池の地下水位(H22.4)